



エーミール…
準備はできた？

ハァハァ

うん母さん
できたけど…
ここれでいいの？

あらあら
ご立派なモノを
お持ちで…

いい？
あんたのチンポは
普通じゃないの

こうやって定期的に
又いてあげないと
大変なことになるのよ

普通のチンポ
みたいに自分で
処理できれば
いいんだけど…

これが少々
手で擦ったぐらいじゃ
中々ね…

だから私とヤル
しかないわけ…
本当は親子で
こういうのは

避けたい所
なんだけどね…



その日僕は
母親の膣で
始めての
女を知り

んぐっ

あっ

ああっ

ズ
ブ
ブ
ブ

ズ
ブ

始めての
子宮姦を経験し
そして...

ああぐっ

あがっ

ギ
ュ

ボ
ッ

ベ
ッ

ブ
ン

始めて女を
壊した

ド

ブ
ッ

!

う

あああああ
あああああ
あああああ

なっなんて
大ききさ...

禁じられていた
膣内射精が
引き金となり

ん
あああああ

母の子宮が
音を立てて
割れたのだ

ぎゃああああ
あああああ

普段から
肥大陰茎症の
客を取っている母なら
壊れることなど
ありえないのだが

兄たちの愚行による
賠償金支払いに追われ
疲労が蓄積しすぎて
いたことと

さらには僕のモノの
怒張が母の想定を
はるかに超えてしまっ
たことが原因であつた

が

あがあ



気がつくとも僕の目の前に
ただ痛みに苦しみ悶える
一匹の雌獣がいた

いやあああああ
あああああ

くわあああああ
あああああ



その雌獣の咆哮が
10分近く続いた後



ああお
おおお
おおお

正気に戻った母は
腔内射精した僕を
嗜めることなく気丈にも
はにかんで笑った

へっっ…ちよつと
乱れちゃった♪

しかも深刻なダメージを
負ったばかりの
その子宮で再び僕を
受け入れ始めたのだ



僕はただ母の雌の
匂いと熱にあてられ
誘われるがままに
腰を振るだけだった



母のこの無謀な行動が娼婦と
しての意地だったのかそれとも
僕に対するただの負い目だった
のかはわからない…
でもたった一つ言えること



それは僕がこの篠宮レイコ
という母親を雌として愛し
ここで孕ませたいと強く
思っているということだ

